

としょだより

にししょうがっこう 学校図書館支援員 はたの 秦野

がつごう
6月号



みんなで頑張った運動会が終わり、しっとりとした雨の季節になりました。外に出られない日が多いのは残念ですが、気持ちを落ち着かせ、学校図書館でのんびり過ごしてみませんか。本と一緒に、みなさんのお越しを待っています。

移動図書館「ともしび号」の本

ともしび号で借りた本は、次のどちらでも返すことができます。

★学校図書館の「ともしび号」用の箱に入れる

★市立図書館へ持って行く



がっこうとしょかん
学校図書館のようす

- <1年生> オリエンテーション、読み聞かせ
 - <2年生> 読み聞かせ、ブックトーク「日本の昔話を楽しもう」
 - <4年生> 漢字辞典の使い方
 - <おひさま> 読み聞かせ
- などで利用されていました。

としょクイズ

『〇〇どろぼう』

町で買ってきた〇〇を、ある動物に取られてしまう、おじさんの昔話

『おじさんの〇〇』

大切な〇〇がぬれないように、雨が降っても〇〇をささないおじさんのお話

〇〇に入る文字はなに？

(おはなしかたのうた、おはなしかたのうた、おはなしかたのうた)

読書感想文コンクール課題図書

読書感想文全国コンクールの課題図書が、これから各クラスへ順番に回ります。夏休みの宿題で挑戦しようかなという人は、ぜひ手に取ってみてください。

1、2ねんせい



『ライオンのくにのネズミ』

さかとくみ雪/作, 中央公論新社



家族でライオンの国に引越し、転校したネズミ。言葉はわからないし、ライオンはこわい。もう帰りたい…。でも、たった1人、友だちになったリスをライオンにバカにされて、サッカー対決をしたら、知ろうとしていなかったライオンの意外な気持ちがわかって…？

『ぼくのねこポー』

岩瀬成子/作, 松成真理子/絵, PHP研究所



学校の行き帰りに出あったねこ。のらねこかな？すてねこかな？家に連れ帰ったぼくは、おかあさんに「箱にとじこめられていたの」とうそをついた。飼われているねこじゃないといいな。ぼくんちのねこになってほしいな。でも、クラスにやってきた転入生の森くんから、いなくなった飼いいねこを探しているって聞いて…。

『ともだち』

リンダ・サラ/作, ベンジー・デイヴィス/絵, しらいすみこ/訳, ひさかたチャイルド



エトとぼくは毎日、おかの上だんボールばこを引っぱっていつて遊ぶ。ぼくは「ふたりいっしょ」が大好き。そこへ、知らない男の子がやってきて「なかにいれてくれる？」って言った。エトは「いいよ」って言ってその子と遊ぶようになったけれど、ぼくは複雑。

『ワレワレはアマガエル』

松橋利光/文・写真, アリス館



みんなは「カエル」って聞くと、どんなカエルを思いうかべる？多くの人が思いうかべる特ちょうは「アマガエル」に当てはまるんだって。田んぼにすんでいる、私たちに身近なアマガエル。春におすとめすがあつてたまごをうんでから、冬に冬眠するまでの一年間の様子を、楽しくわかりやすく教えてくれる写真絵本。

ねんせい 3、4年生

『ふみきりペンギン』

おくはらゆめ/作・絵, あかね書房



友だちに左ききをばかにされたゆうとは、元気をチャージしに、大好きな電車を見に来た。すると、ふみきりで、言葉をしゃべる不思議なペンギンに出あった。…「ふつう」って何だろう。「ふつう」じゃなきゃいけないのかな。「ふつう」と「不思議」の間にいる小学3年生たちのお話。

『バラクラバ・ボーイ』ジェニー・ロブソン/作, もりうちすみこ/訳, 黒須高嶺/絵, 文研出版



転入生のトミーは、いつでもバラクラバ帽をかぶっている。なぜだろう？個人的なことだとはわかるけれど、理由を知りたくてたまらない。そんなある日、上級生のいじめっ子が、トミーのバラクラバを無理矢理取ろうとした！助けに入ったぼくたちは、トミーの味方だって示すために、あることを思いついて…！

『たった2℃で… 地球の気温上昇がもたらす環境災害』

キムファン/文, チョンジンギョン/絵, 童心社



私たちの体温は、2℃上がるだけで“病気”になる。それは地球も同じなんだ。それどころか、2℃の変化が20℃に感じられる生きものもいる。このまま地球温暖化が進めば植物も動物も生きられない。「たった2℃」がどれくらい危険なのか知ってみよう！

『ねえねえ、なに見てる？』ビクター・バルモント/絵と文, 金原瑞人/訳, 河出書房新社



色の見え方が他の人と違う、ぼくの世界。肉や魚を食べないねえさんから見た世界。小さい弟から見たら、何もかもが大きな世界。同じ景色でも、人はそれぞれ見えているものが違う？私たちが誰もがかけている「目に見えないメガネ」を通して、みんながどんな風にまわりを見ているのか考えてみよう！

ねんせい 5、6年生

『ぼくの色、見つけた！』

志津栄子/作, 末山りん/絵, 講談社



他の人と色の見え方が違う信太郎。お母さんに「かわいいそう」って言われたり、友だちにかかわれたりしたこともあったから、もやもやして、ずっと隠してきた。でも、5年生の担任の先生は、そっと配慮して、素敵な言葉をくれる。それがきっかけで信太郎は、自分だけに見える「色」を見つけ、夢中になってキャンバスに向かうようになる。

『森に帰らなかったカラス』ジーン・ウィリス/作, 山崎美紀/訳, しらこ/画, 徳間書店



第二次世界大戦の記憶が残るイギリス。生きもの好きな少年ミックは、公園でけがをしたニシコクマルガラスのひなを保護する。ジャックと名付けたひなはミックになつき、回復しながら成長して、地域の人気者になるが…。ロンドン動物園の元飼育員の美話にもとづく物語。

『マナティーがいた夏』エヴァン・グリフィス/作, 多賀谷正子/訳, ほるぷ出版



小学校最後の夏休み。認知症のおじいちゃんのお世話係をしながら、親友のトミーと生きもの観察を楽しむピーターは、いつもの運河でマナティーと出会う。けれどマナティーの背中には、モーターボートとぶつかってできたたくさんの傷があった。家族、友だち、野生生物…。ピーターと、ピーターの大切なものを取り巻くひと夏の物語。

『とびたて！みんなのドラゴン 難病ALSの先生と白明小合唱部の冒険』

オザワ部長/著, 岩崎書店



内気な性格で、人前で話すことができない6年生のマナミは、小学校の合唱部のコンサートに感動し、入部を決める。私も合唱部のみんなみたいになれるかな…。一方、4月に合唱部の顧問になったばかりの竹永先生には、まだ子どもたちの知らない秘密があった。それは、先生がALS(筋萎縮性側索硬化症)という難病を抱えているということ。一緒に悲願の合唱コンクール全国出場を目指す、子どもたちと先生。その眩しい一年間と快進撃を描いた、本当のお話。